

現場発泡断熱材 アクアフォーム

水から生まれた住宅用断熱材

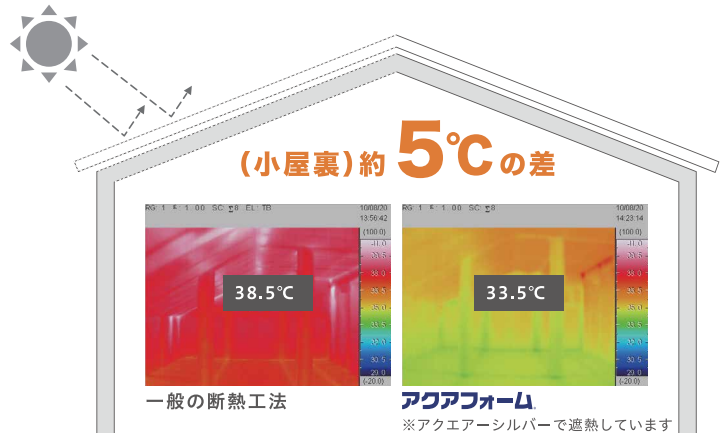
アクアフォーム

高い断熱性能をサーモグラフィーで検証

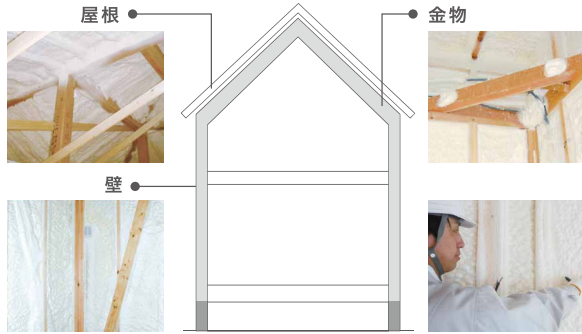
検証 エアコンを使用せず室内表面温度を測定
 検証時間帯の平均外気温: 30.1°C
 ●検証日時: 2010年8月20日 13:30~15:20

【夏の小屋裏】

屋根からの熱から室内を守り今まで熱かった2階も快適に過ごすことができるようになります。

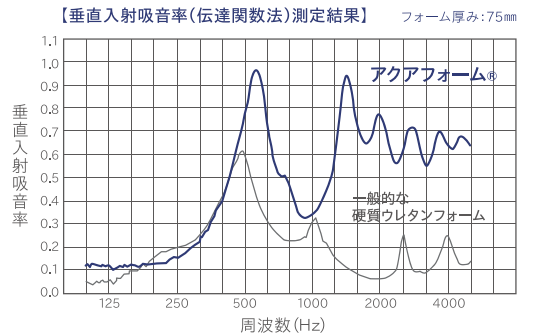


アクアフォームの施工



優れた吸音性能を数値が実証

アクアフォーム®の細かな連続気泡構造は、吸音性にも優れています。高い気密性により外部の騒音や内側からの生活音の漏れを軽減するとともに、アクアフォーム®の細かな気泡構造が音をスポンジ状のフォーム内に吸収します。



Q&A アクアフォームのよくあるご質問にお答えします

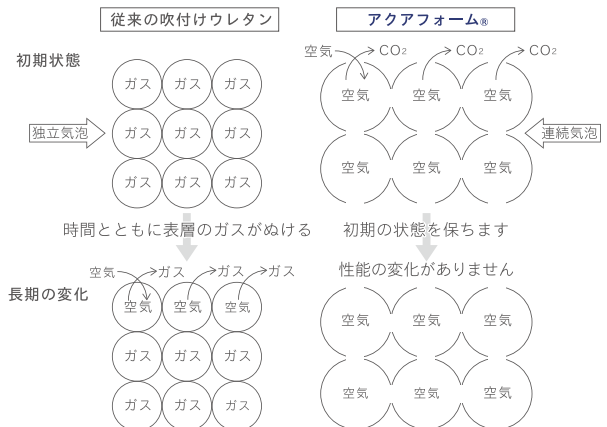
Q1 アクアフォーム®って他の断熱材と何が違うの？

A 硬質ウレタンフォームを現場で水の力により発砲し、吹付け施工する今までにない断熱材です。従来のグラスウールなどの断熱材は現場の施工部分に合わせてカットし、貼っていくため隙間ができてしまうことがありますが、アクアフォーム®では細かい部分にも隙間なく充填でき、接着性も高いため安定した断熱効果を得ることができます。



Q2 ウレタンの断熱性能はだんだん低下するの？

A アクアフォーム®は「空気」によって断熱しています。気泡中と大気中の空気は同じ成分なので性能が変わりません。



Q3 子供がアレルギーですが影響はありませんか？

A 悪い影響はありません。一般的に断熱材として使用されている繊維系断熱材に結露するとカビが発生し、カビはダニの餌にもなるためダニも発生します。カビやダニの死骸は喘息やアトピーなどの原因になると言われていますが、結露が発生しにくいアクアフォーム®なら健康的な室内環境が期待できます。

Q4 火事がおれば、燃えるのが心配ですが…？

A アクアフォーム®は熱硬化性プラスチックです。高温になっても液化しません。火災の際には約300~400°Cで固体の状態で燃焼し、二酸化炭素等が発生し、そのもの自体は炭化します。日本工業規格による硬質ウレタンフォームの燃焼性JIS A9526の規定に適合した製品です。また、従来軸組工法、2×4工法では外壁の30分防火と45分の準耐火構造認定も受けております。